

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会認定（試行事業）  
**試行事業病院総合医養成プログラム 年次報告書**

2014年 7月24日

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会  
 理事長 殿

以下に記載した内容で、貴学会の試行事業における病院総合医養成プログラムとして認定を更新していただけますよう申請いたします。

プログラム責任者署名（自署）

佐藤 泰吾

<b>1. プログラム名称</b>			
諏訪中央病院・病院総合医研修プログラム（1年コース）			
<b>2. プログラム責任者</b>			
プログラム責任者氏名	佐藤 泰吾	学会会員番号	
所属・役職	総合診療部部长		
所在地・連絡先	住所 〒391-8503 長野県茅野市玉川 4300 電話 0266-72-1000 FAX 0266-72-4120 E-mail taigo@celery.ocn.ne.jp		
連絡担当者氏名・役職	伊東 敦彦・総務課長、 前嶋 真理・総務課		*プログラム責任者と別に連絡担当者がある場合のみ記載
連絡先	電話 0266-72-1000 FAX 0266-72-4120 E-mail soumu@suwachuo.jp		
<b>3. 最近1年間のプログラムの概要</b>			
・研修者の感想や、アピールポイントをお書きください			
<p>当プログラムはこの1年で新たに1名の研修者を迎えた。まだまだプログラムも発展途上であるが、地域中核病院の利点を生かして、様々な疾患を様々な診療環境で経験してもらっている。当院にない専門分野に関しては数多くの院外講師の先生方にコンサルテーションを出来る環境もある。病棟診療で関わった患者さんの在宅診療なども継続して経験してもらっていることも病院診療の質を深める契機になっている。横断的活動にも複数関わってもらい、病院の診療の質改善をおこなってもらっている。学会ではポートフォリオ教育が病院にもたらしたものについてまとめ、発表をしてもらった。</p> <p>&lt;研修者感想&gt;                  地方中規模中核病院であるという特徴を生かして、ICU～急性期～リハビリ/療養病床～外来/在宅までの一貫した主治医担当による「継続性」のある関わりと学びを経験、同一診療圏内での診療所研修（ブロック+ハーフデイ）を通して病診連携や一連の疾患エピソードの視点の違いを学ぶことができた。緩和ケアチーム・在宅経験による癌・非癌の看取りの経験、スキル、地域コミュニティーや住民との直接的な関わりや協働を通じた地域志向ケアの実践もできる。藤沼 Dr (CFMD)、鈴木 Dr (名古屋大)、山中 Dr (藤田保健衛生大) を始めとして年間10名以上の院外講師招聘を含む指導体制がある。また、日本在宅医学会で「ポートフォリオ教育が病院にもたらしたもの」というテーマで発表を行った。</p>			

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

4. 過去2年間の実績			
2012 年度	新規研修開始者数	1名	
	研修修了者数	1名	
2013 年度	新規研修開始者数	1名	
	研修修了者数	1名	

5. 現在のプログラム研修者該当者数（研修休止中の者を含む）							
1年目	1名	2年目	名	3年目	名	4年目	名

6. プログラムにおける指導医  
主たる施設における指導医以外の、関連病院の指導医は氏名の下に施設名を記載

氏名	卒業年	専門分野・資格	専門分野・資格
佐藤 泰吾	H12年	総合診療分野	日本内科学会
		日本プライマリ・ケア連合学会 認定医 指導医	
金子 一明	H19年	総合診療分野	日本内科学会 認定医
		日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医療専門医 指導医	
谷内 法秀	S54年	消化器分野	日本肝臓学会、日本膵臓学会
		日本消化器内視鏡学会	内科学会 認定医
今井 拓	H10年	循環器分野	日本心血管介入治療学会 専門医
		日本循環器学会 専門医	日本内科学会 認定医
		日本プライマリ・ケア連合学会 認定医 指導医	
谷 直樹	H18年	呼吸器分野	日本内科学会 認定医
		日本呼吸器学会	日本プライマリ・ケア連合学会 認定医
三浦 浩平	H2年	腎・透析分野	透析医学会 専門医・指導医
		日本腎臓学会 専門医	日本内科学会 総合内科専門医
奥 知久	H20年	緩和ケア分野	日本緩和医療学会
		日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医療専門医	日本在宅医学会
		日本内科学会	日本摂食嚥下リハビリテーション学会
山崎 美佐子	H10年	化学療法分野	日本内科学会
		日本臨床腫瘍学会	日本プライマリ・ケア連合学会 認定医
山中 克郎 藤田保健衛生大学 総合救急内科	S60年	総合診療分野	日本内科学会
		日本プライマリ・ケア連合学会	
岡田 正人 聖路加国際病院 プライマリ-膠原病科	H1年	膠原病分野	日本アレルギー学会 専門医 指導医
		日本リウマチ学会 専門医 指導医	日本内科学会 認定医 総合内科専門医
岸本 暢将 聖路加国際病院 プライマリ-膠原病科	H10年	膠原病分野	日本リウマチ学会 専門医
		日本内科学会 総合内科専門医	米国リウマチ膠原病科専門医

受付番号		受付日	20	年	月	日	決定日	20	年	月	日	決定
------	--	-----	----	---	---	---	-----	----	---	---	---	----

具 芳明 東北大学大学院医学系研究科 感染症診療地域連携講座	H9 年	感染症分野	日本化学療法学会 抗菌化学療法指導医
		日本内科学会 認定内科医	ICD 制度協議会認定インフェクション
		日本感染症学会 感染症専門医	コントロールセンター
錦織 宏 京都大学医学研究科 医学教育推進センター	H10 年	医学教育・研究分野	医学教育学修士(英国バングレイ大学)
		日本ブライリ・リ連合学会 ブライリ認定医	
		日本内科学会 認定医 総合内科専門医	

**7. 施設・診療科診療実績概要**

病床数 360床 (内総合診療部門定床 48床)  
 総合診療部門外来患者実績 初診 約487人/月 再診 約994人/月  
 総合診療部門入院患者実績 平均 約 71人/月

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

8. 診療実績 研修者1人平均経験症例		
急性期一般病床入院		約100症例
集中治療室（ICU）・HCU入院症例		約 10症例
外来継続診療症例		約 30症例
看取り症例		約 20症例
委員会活動実践事例		約 4委員会（NST、研修委員会、 教育委員会、病院祭）
教育実践事例		約140症例
研究実践事例		約 1症例
9. 診療実績 研修者一人平均経験症例 領域別		
症例数不明の場合は、おおよその割合を記載してください		
研修領域	症例数もしくは割合	主な疾患名
心疾患系	約40症例	AMI
	約 40%	心アミロイドーシス、慢性心不全
呼吸器系	約15症例	誤嚥性肺炎
	約 15%	間質性肺炎
消化器系	約 5症例	急性腸炎
	約 5%	胆管癌ターミナル
代謝内分泌・血管系	約15症例	糖尿病コントロール不良
	約 15%	副腎クリーゼ
神経系	約10症例	ラクナ梗塞
	約 10%	Parkinson病
腎泌尿器科系	約 5症例	慢性心不全
	約 5%	後腹膜線維症
リウマチ性・筋骨格系	約 5症例	大腿骨頭部骨折
	約 5%	線維筋痛症
皮膚	約 5症例	蜂窩織炎
	約 5%	褥瘡感染
耳鼻咽喉科	約 1症例	扁桃周囲膿瘍
	約 1%	
その他 PCU症例	約 3症例	胃癌ターミナル
	約 3%	食道癌ターミナル

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

**10. 研修者の評価方法（研修修了認定の方法も含めて、具体的に）**

- ・ 指導医およびコメディカルを交えて、振り返りを行い、形成的評価を行う。
- ・ 日本プライマリ・ケア連合学会がプログラムの要件として指定した経験症例・事例に関する総括的評価を行う。評価時期はプログラム終了時とする。
- ・ 研修修了認定を当院・研修委員会にて行った。

**11. プログラムの質の向上・維持の方法**

- ・ 毎月開催される諏訪中央病院研修委員会（コメディカルも委員として含む）において、当プログラムの運営状況を報告し、問題点を病院全体で共有し、プログラムの質の向上・維持をはかる。
- ・ 院外指導医に当プログラムに参画して頂くことを通じ、外部評価が定期的に行われる体制をとり、プログラムの質の向上・維持をはかる。

その他、お気づきの点やご意見等ありましたら下記にお書きください

特になし